

2020年4月24日

第91回山形県中央メーデー実行委員会

代表委員 勝見 忍

代表委員 東海林 良二

代表委員 渡辺 勇仁

働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう！

## 第91回山形県中央メーデーにあたって

1920年5月2日、東京・上野公園での日本初のメーデー開催から今回で100年が経過しました。山形県においても来る5月1日、「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」をスローガンとして、第91回山形県中央メーデーを迎えます。

この度、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を考慮し、また感染防止のために、第91回山形県中央メーデー実行委員会として、通常の集会とパレードについては行わないとの判断にいたりしました。しかしながら、5月1日が労働者の祭典としてのメーデーであることに変わりはなく、現下の情勢にてらして適切な行動形態を検討して取り組むこととしました。

2020年の第91回山形県中央メーデーは、先人たちによって築かれた、日本や県内における労働運動や社会運動の歴史、そしてメーデーの歴史的歩みを祝うとともに、新たな時代を切り拓いたたかひのスタートラインでもあります。

私たちはメーデーの取り組みにあたって、次の意義を確認しました。

- ① 9条をはじめとする改憲を断念させ、市民と野党の共闘前進によって、安倍政権の退陣を実現し、いのちと平和を守る政治への転換を追求する。
- ② 大幅賃上げと全国一律最低賃金制度の実現を勝ち取り、労働者のための働くルールを確立する。
- ③ 消費税減税と社会保障の拡充、国民生活の改善を求める。
- ④ 震災復興・原発ゼロ、防災対策の強化、地球温暖化防止をめざす。
- ⑤ 世界の労働者との連帯をめざす。
- ⑥ 職場・地域における運動の活性化と組織拡大強化を勝ち取る。

以上を確認し、本メーデーを契機に一層の奮闘を決意します。

いま、新型コロナウイルスの脅威が日本と世界を覆っています。山形県においても感染者が増加し続けています。

今日の事態は、日本の医療体制・検査体制がいかに脆弱なものであるかを明らかにしました。さらに、感染拡大の影響によって、雇用と営業は危機的な状況に直面しています。これらに対する安倍政権の対応は後手後手であるだけでなく、きわめて不十分であり、国民のおかれた深刻な現実に向き合おうとするものではありません。

国民世論を背景に野党が一貫して要求してきたすべての国民に対する10万円

の給付はようやく具体化されることとなりましたが、営業自粛などの補償には背を向け続けています。引き続き、「自粛と補償は一体で」の声を強めましょう。

また、新型コロナ問題を口実とした不当なリストラや解雇は許されません。雇用調整助成金制度なども活用させ、雇用維持と休業補償に全力を尽くさせるなど、労働者の雇用は断固として守り抜きましょう。

財界はこの機に乗じて、最低賃金引き上げの凍結を言い出しています。最低賃金は、貧困と格差を解消するために、とりわけ賃金水準の低い非正規労働者などの賃金底上げをはかるなど本来の機能が発揮されなければならず、全国一律に移行することこそ求められている制度です。コロナの影響で中小企業の負担が増大している現状は解決されなければなりません。最賃凍結を持ち出すことは筋違いであり許されません。いまコロナ禍によって打撃を受けている多くの労働者にとって、最賃の大幅引き上げと格差是正こそ必要です。

感染者の増大によって医療崩壊の危機が叫ばれています。PCR 検査体制の拡充や軽症者向けの療養施設の増設など緊急の対策の強化を求め、国民のいのちと健康を守り抜きましょう。政府による全国 424 病院（山形県は 7 病院）の統廃合計画はこの際、撤回させましょう。

本メーデーを機に、新型コロナウイルスの感染拡大という重大事態のもとでこそ、国民のいのちと健康、労働者の雇用と権利が守られる政治と職場の実現をめざし奮闘しましょう！

なお、5 月 1 日は下記のように街頭アピール行動を行います。

#### 記

日 時	5 月 1 日（金） 昼 12 : 10 ~ 12 : 40
場 所	山形駅前（東口）
行 動	横断幕等の掲示、マイクでのスピーチ、本行動の SNS による拡散

以上